

樂美術館事業報告要旨

平成 22年度

期間 2010年4月1日（木）～2011年3月31日（木）

事業報告要旨

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して（詳細は別紙のとおりである）

(1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 樂歴代展 樂美術館コレクション 歴代の代表作が一堂に
- 2) 親子で見る展覧会 シリーズ「樂ってなんだろう」
- 3) 特別展 樂吉左衛門還暦記念Ⅰ 襲名から個展「天問」まで
- 4) 特別展 樂吉左衛門還暦記念Ⅱ 個展「天問」以後今日まで
- 5) 春期特別展 樂美術館コレクション 樂歴代とその周縁

(2) 手にふれる美術館活動（講演解説を含む）

- 1) 手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会、親子でお茶一服、手にふれる展示

(3) 他機関との協力活動

- 1) 館外展示協力事業
- 2) 海外交流事業、他の美術館・博物館との協力事業
- 3) その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1) 長谷川等伯「松林架橋図襖」四面を修復中。

3. 作品・資料収集に関して（作品リストは別紙のとおりである）

- 1) 新規購入作品1点を基本財産に繰り入れた。
- 2) 3点の当代吉左衛門の作品寄贈を受け基本財産に繰り入れた。

II 研究・資料図書公開事業

- 1) 歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。
- 2) ホームページを更新し、基本解説を充実させ、作品の画像公開をおこなった。

III 学校・社会教育事業

- 1) 小・中・高等学校への協力活動として、「シリーズ「樂ってなんだろう」展の開催」「親子で見る樂茶碗鑑賞会」「親子でお茶一服」の開催 等。
- 2) 研修授業・修学旅行学習への協力をした。
- 3) 小中学生対象の樂焼の歴史ワークシートを制作、配布した。
- 4) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力をした。

地域社会への文化協力、社会教育活動

- 1) 生涯学習など、社会教育事業への協力をした。
- 2) 地方文化団体の文化事業への協力をした。
境港市「知新の会」、守山市・佐川美術館茶会 他。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (1) 展覧会活動 (当館展示)

館展示事業

展示事業1 春期特別展 樂歴代展 2010年3月27日(土)～ 6月6日(日)

サブタイトル 樂美術館コレクション 歴代の代表作が一堂に

樂美術館コレクションを中心に、個人所蔵家のコレクションも加え、樂歴代の代表作を一堂に展観した。

展示事業2 親子で見る展覧会 シリーズ樂ってなんだろう 2010年6月13日(日)～ 8月29日(日)

サブタイトル 貝殻・魚・花葉・動物 様々なデザイン、器の造形

身近な動物や草木や花、海辺の生き物、様々な自然への観察の目とインスピレーションを通じて生み出された樂焼の器を子供にも理解しやすい楽しい展示解説や、一部作品資料に手に触れて鑑賞するなど、工夫を凝らした方法で展示した。

展示事業3 樂吉左衛門還暦記念 I 2010年9月11日(土)～12月12日(日)

サブタイトル 襲名から個展「天問」まで

十五代樂吉左衛門の還暦を記念しての展覧会。17歳の初造りから吉左衛門襲名以前の惣吉時代を経て、襲名披露の初個展、さらに1990年開催の個展「天問」までの代表作を展観。展示作品一点一点に作者本人のエッセイを添え、作品が生まれた背景を当時の日常の細部に分け入って昔語りされており、より興味深く鑑賞していただけるよう展示した。

展示事業4 樂吉左衛門還暦記念 II 2011年1月7日(金)～3月13日(日)

サブタイトル 個展「天問」以後今日まで

十五代樂吉左衛門の還暦を記念しての第2期展。個展「天問」以後今日まで、先鋭的な過激さに加え思索的な深まりをみせる吉左衛門の全貌を辿りその代表作を展観。1期展同様、展示作品一点一点に作者本人のエッセイを添え、好評であった。